

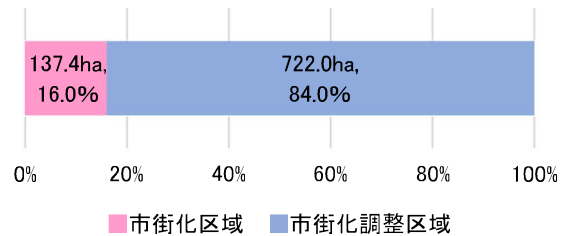
8-5 南部地域のまちづくり構想

(1) 南部地域の現況・特性

① 地域の概況

- ・本地区は、南西部に位置し、常滑市、半田市に隣接しています。
- ・本地区の面積は約 859ha で、そのうち市街化区域は 16.0% (137.4ha) を占めています。
- ・本地区には、名鉄河和線阿久比駅や植大駅が位置しています。

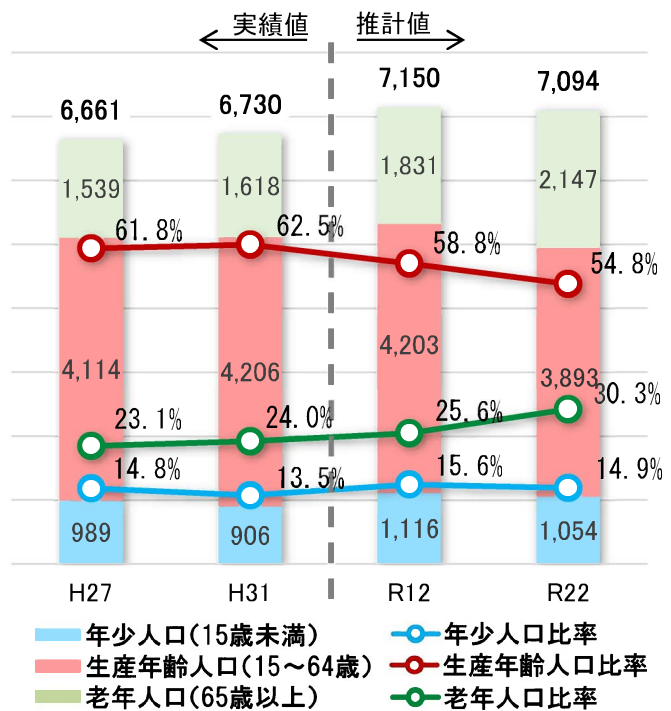
<区域区分の状況(平成 28 年度)>



② 人口動向

- ・本地区の平成 27 年 (2015 年) の人口は 6,661 人となっており、町全体の約 24% に該当します。
- ・令和 22 年 (2040 年) までの人口推移を見ると、今後は人口が減少する見込みです。
- ・平成 27 年 (2015 年) の年少人口比率は 14.8%、生産年齢人口比率は 61.8%、老年人口比率は 23.1% となっており、町内で最も生産年齢人口比率が高い地域となっています。

<人口・世帯数の推移>

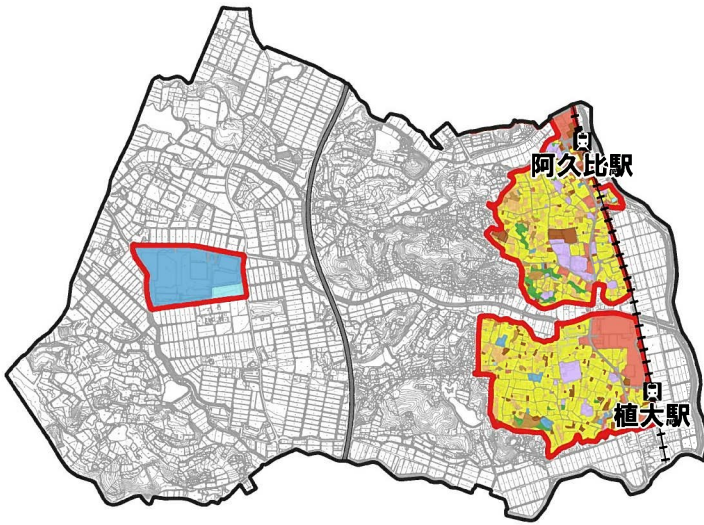


※平成 27 年、令和元年は実績値を採用
 ※令和 12 年、22 年は、平成 27 年度の国勢調査を基にした推計値を採用 (国立社会保障・人口問題研究所)

③ 土地利用の状況

- ・本地区では、阿久比駅前土地区画整理事業が実施され、名鉄河和線や都市計画道路知多東部線に沿って市街地が形成されています。
- ・市街化区域内には、住宅地のほか、大規模商業施設や南部工業団地が立地しており、住宅用地が約 39%、商業用地が約 10%、工業用地が約 15% を占めています。
- ・植大地区では、住工の用途が混在した土地利用がみられています。
- ・市街化調整区域には、優良農地が広がっています。
- ・阿久比・矢高地区では、都市計画道路の整備状況により産業系市街地の開発を検討しています。

<市街化区域内の土地利用現況(平成30年度)>



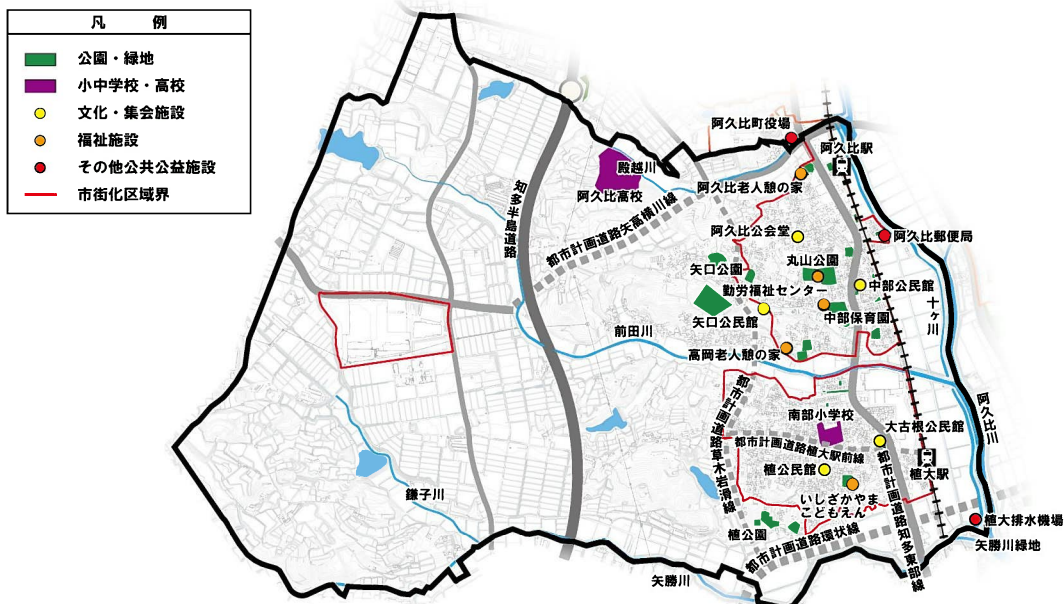
区分	凡例	市街化区域		
		面積	割合	
自然的 土地利用	農地	田	0.10 ha	0.1%
		畑	10.20 ha	7.4%
	山林	3.07 ha	2.2%	
	水面	2.07 ha	1.5%	
	その他の自然地	3.76 ha	2.7%	
都市的 土地利用	住宅用地	52.84 ha	38.4%	
	商業用地	13.85 ha	10.1%	
	工業用地	20.13 ha	14.7%	
	公的・公益用地	6.71 ha	4.9%	
	道路用地・ 交通施設用地	18.51 ha	13.5%	
	公共空地等	6.16 ha	4.5%	
総計		137.40 ha	100.0%	

※「公共空地等」には、公共空地、その他の公的施設用地、その他の空地、低未利用地が含まれる

④都市施設の整備状況／公共公益施設の立地状況

- ・本地域には、名鉄河和線阿久比駅、植大駅が位置しています。
- ・北部の阿久比パーキングエリア周辺では、上りパーキングエリアの新設と合わせた新たな土地利用が計画されています。
- ・本地域では、都市計画道路が5路線（知多東部線、環状線、矢高横川線、植大駅前線、草木岩滑線）が指定されており、そのほとんどが未整備となっています。
- ・都市公園は、近隣公園を含めて3カ所 1.93ha が整備されており、一人あたりの都市公園面積は 2.9 m²/人で、町平均（2.3 m²/人）よりも高い水準となっています。
- ・本地域には、県立阿久比高等学校、南部小学校、阿久比公会堂、勤労福祉センターのほか、公民館、保育園、老人憩の家などの公共公益施設が立地しています。

<都市施設・都市機能の状況図>



⑤ 自然環境・地域資源

- ・阿久比川などの河川沿岸や地域西部に優良な田園風景が広がっているほか、地域南部に権現山などの森林がまとまって分布しています。
- ・歴史的資源として、国登録有形文化財を擁する蓮慶寺があるほか、町指定有形民俗文化財である山車が大古根地区にあり、山車の曳き回しなどが行われています。
- ・矢勝川左岸堤防に広がる彼岸花は本町の観光資源であり、秋祭りには多くの観光客が訪れています。

⑥ 防災

- ・阿久比地区、椋岡地区、植大地区の一部を準防火地域に指定しています。
- ・「洪水ハザードマップ」において、阿久比川、前田川、矢勝川流域が浸水想定区域に指定されています。
- ・矢高地区の丘陵地には、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区に指定されています。
- ・地域防災計画において、南部小学校、勤労福祉センターなどが避難所に指定されているほか、丸山公園などが避難場所に指定されています。

(2) 南部地域の課題

【人口動向】

- 他地区に比べ、生産年齢人口比率が高い割合を占めることから、今後も将来にわたり、子育て世帯をはじめとする若い世代が暮らしやすい環境づくりが求められます。

【土地利用動向】

- 既存住宅地や集落地の良好な住環境の維持・保全が求められます。
- 都市計画道路知多東部線沿道の商業環境の維持・保全が求められます。
- 阿久比・矢高地区において、都市計画道路の整備状況と合わせた産業系市街地の開発促進が求められます。

【都市施設の整備状況／公共公益施設の立地状況】

- 都市計画道路の未整備区間の早期整備や地域ニーズを踏まえた身近な公園・緑地の確保、公共公益施設の適正な維持・管理が求められます。
- 名鉄河和線阿久比駅周辺や阿久比パーキングエリア周辺などにおいて、交通機能の強化や商業・業務機能の充実が求められます。

【自然環境・地域資源】

- 阿久比川の河川景観を活かしたまちづくりや、箭比神社など地域の特色ある歴史・文化の保全・継承が求められます。
- 権現山や矢勝川などの地域資源を活かした観光の魅力づくりが求められます。

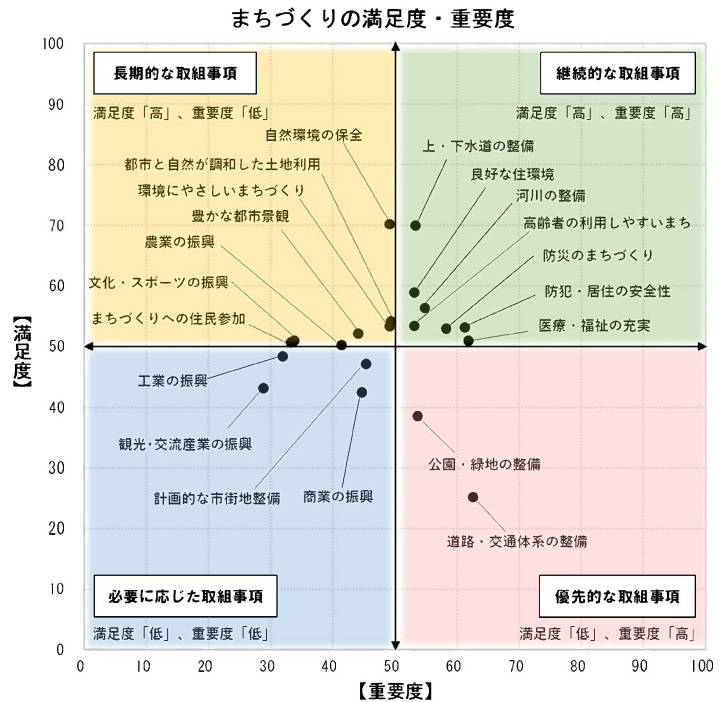
【防災】

- 河川周辺や矢高地区の丘陵地において、自然災害による被害を軽減するための防災対策の推進が求められます。
- 避難所や避難場所に指定されている施設の適切な維持・管理が求められます。

(3)南部地域の住民意向

①まちづくりの満足度・重要度

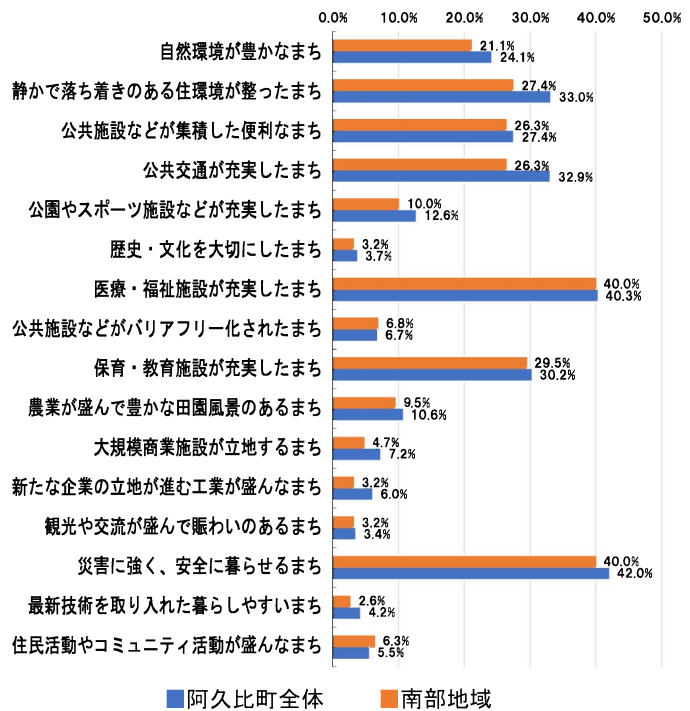
- 満足度が低く重要度が高い取組事項として、「道路・交通体系の整備」や「公園・緑地の整備」があげられており、道路・交通環境や身近な公園・緑地の充実が求められています。



※「満足度」と「重要度」の回答を点数化し、平均得点を偏差値として示したのもの。

②まちの将来像

- まちの将来像として、「医療・福祉施設が充実したまち」や「災害に強く、安全に暮らせるまち」が高い割合となっており、医療・福祉施設の立地促進や河川の浸水対策、丘陵地の急傾斜地崩壊対策などが求められます。
- 町全体と比較すると、「住民活動やコミュニティ活動が盛んなまち」の割合が高く、地域コミュニティの充実が求められています。



(4)南部地域のまちづくりの基本方針

①既存の住宅地や集落地において安心して暮らし続けることができる地域づくり

名鉄河和線阿久比駅前や植大駅前をはじめとする既存住宅地において、良好な居住環境の維持・保全に努めるとともに、地域住民や来訪者が快適に利用できる生活環境の形成を図ります。

②既存の地域資源の活用や新たな産業拠点の創出による活力ある地域づくり

権現山や矢勝川などの観光資源の魅力向上に努めるとともに、阿久比パーキングエリア周辺への新たな交流拠点の形成や阿久比・矢高地区への工業用地の整備を促進し、多くの人々が交流する活力ある地域環境の形成を図ります。

③災害に強く、安全な地域づくり

阿久比川・前田川や丘陵地の急斜面に近接する集落地の防災性を向上し、安全な地域環境の形成を図ります。

(5)南部地域のまちづくりの整備方針

1)土地利用・市街地整備に関する方針

①住居系土地利用

- ・名鉄河和線阿久比駅周辺では、商業・業務などの生活サービス機能の維持・集積を図るとともに、中高層住宅などを含めた土地の高度利用や有効利用を検討します。
- ・矢口地区、高岡地区などの集落地では、周囲の自然環境と調和した居住環境の保全を図ります。
- ・名鉄河和線植大駅周辺では、駅前の交通環境の整備・改善を図ります。
- ・地域住民の生活利便性を考慮した土地利用を図るため、都市計画道路環状線と都市計画道路知多東部線の交差点周辺を市街地拡大候補地に位置づけ、実現化に向けた調査・検討を進めます。

②商業系土地利用

- ・地域住民の生活利便性を考慮した土地利用を図るため、都市計画道路知多東部線及び環状線沿道を市街地拡大候補地に位置付け、実現化に向けた調査・検討を進めます。

③工業系土地利用

- ・南部工業団地は、周辺の営農環境・田園風景と調和した工業用地として環境の維持・保全を図ります。
- ・阿久比・矢高地区では、都市計画道路矢高横川線沿道を中心に市街地拡大候補地を位置づけ、都市計画道路の整備状況に合わせた工業用地の整備検討を進めます。
- ・植大地区の既存集落地では、土地利用転換の状況を踏まえ、工業系用途から住居系用途への用途地域の見直しについて、検討を進めます。

④農業系土地利用

- ・市街化調整区域の農地では、土地改良事業などにより営農環境の保全・整備を進めるとともに、無秩序な宅地化を抑制し、優良農地の保全を図ります。

2)道路・交通の整備方針

- ・環状線、矢高横川線などの都市計画道路の早期整備の実現に向けた検討を進めます。
- ・名鉄河和線阿久比駅を中心とした交通ネットワークの強化を図ります。
- ・地域の高齢者など、交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、地域住民のニーズに配慮した循環バスの維持・充実を検討します。

3)公園・緑地の整備方針

- ・既設の公園について、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具・施設などの適正な維持・管理を図ります。
- ・都市公園の整備が不足する地域において、地域住民のニーズに配慮した身近な公園・緑地の確保を検討します。
- ・阿久比パーキングエリア周辺において、広域的な緑のふれあい交流拠点（総合公園）の整備を検討します。

4)河川・下水道の整備方針

- ・阿久比川や矢勝川の河川敷を活かしたサイクリングロードの整備を促進します。
- ・前田川などの河川改修や、市街化調整区域に広がる農地における農作物のたん水被害防止を未然に防ぐため、たん水防除事業を促進します。
- ・市街化区域内の下水道施設の計画的な維持・更新を図るとともに、市街化調整区域において単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図ります。

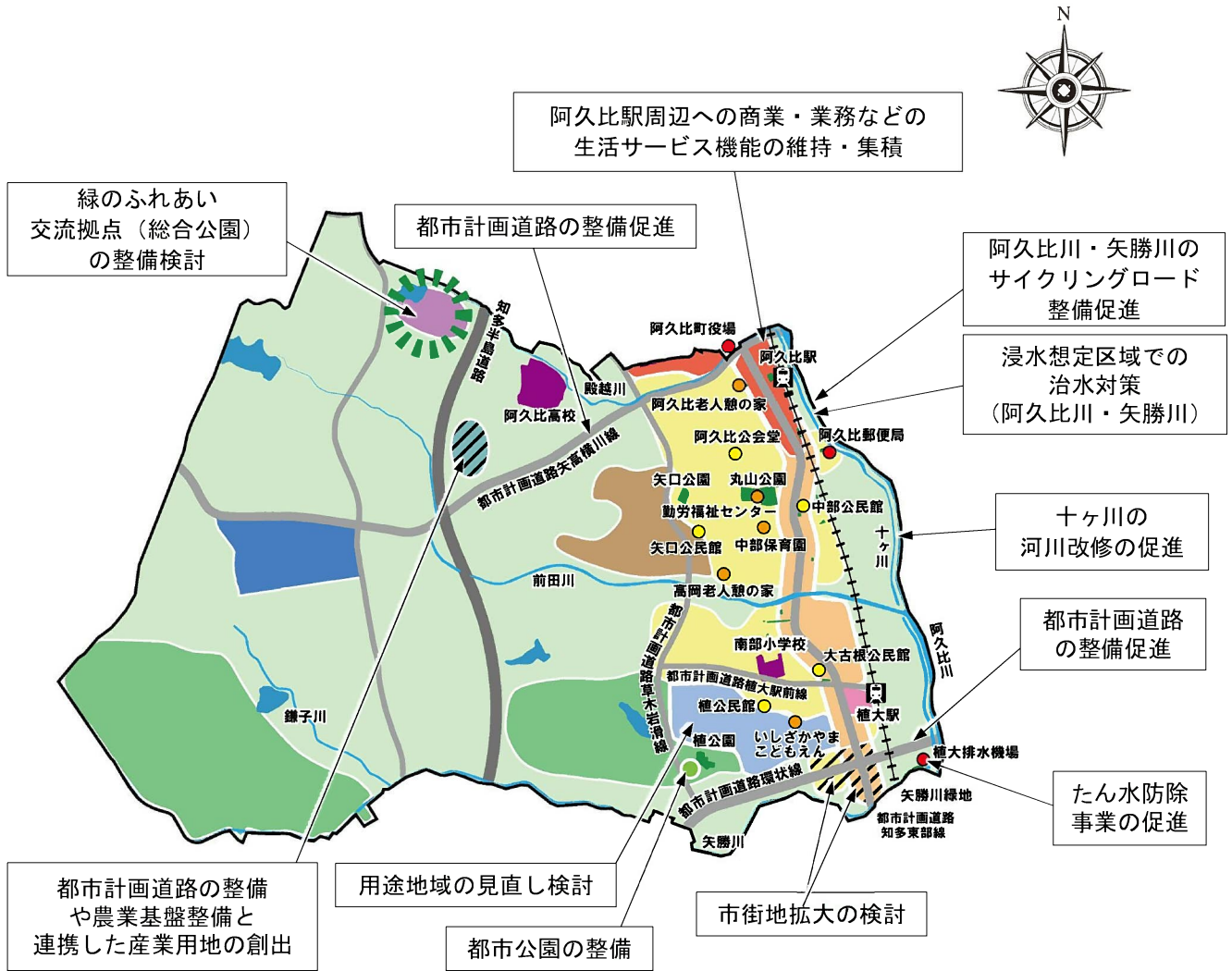
5)自然環境・景観の形成方針

- ・市街地近郊の貴重な緑地資源である箭比神社、五郷社などの社寺林は、地域住民との協働による保全を検討します。
- ・権現山一帯では、西狐谷池や矢勝川などが舞台となったといわれる童話「ごんぎつね」をモチーフとした環境整備など、観光・交流の促進に向けた取り組みを地域住民とともに検討します。
- ・矢勝川では、地域が主体となった環境美化活動を促進し、観光資源としての環境の維持・保全を図ります。
- ・再生可能エネルギー発電施設などの開発は、適正な規制と誘導により抑制し、自然環境や地域の居住環境に配慮した景観の形成に努めます。
- ・ホテルの主要な生息地となっている阿久比川、前田川及び矢勝川沿いの優良農地は、地域住民との協働のもと継続的な保全を図ります。

6)大規模自然災害に備えた安全安心な生活環境の整備方針

- ・阿久比川や十ヶ川などの改修を促進するとともに、洪水ハザードマップに基づく浸水想定区域において、植大排水機場の新設、高潮対策として十ヶ川遊水地の整備など、防災対策の強化や防災措置の指導、農地が有する遊水・保水機能の維持・確保に向けた総合的な対策を図ります。
- ・急傾斜地に近接している矢高地区をはじめとする既存集落地は、危険度に応じて急傾斜地崩壊対策事業を促進します。
- ・浸水想定区域などの災害リスクについて、ハザードマップなどを通じて、広く住民に周知・啓発します。大規模地震などで被害を受けやすい、大規模盛土造成地については個別計画により、さらにスクリーニングし、宅地防災対策を検討します。
- ・既存集落地内の狭あい道路の改善による安全な避難路の確保や空家などの解消によるオープンスペースの確保に努めるとともに、避難場所となる公園の防災機能の強化を図ります。
- ・準防火地域に指定されている阿久比地区、椋岡地区、植大地区の一部では、建物の防火性能の向上を誘導します。
- ・住民の防災意識の高揚を図り、地域主体の防災活動の活性化を促進します。

<南部地域のまちづくり方針図>



凡 例	
一般住宅ゾーン	自然環境ゾーン
中心商業・業務ゾーン	観光・交流・レクリエーションゾーン
近隣型商業ゾーン	市街地拡大候補地
沿道複合利用ゾーン	小中学校・高校
専用工業ゾーン	公園・緑地
工業ゾーン	河川・ため池
住工共存ゾーン	緑のふれあい交流拠点
集落地ゾーン	文化・集会施設
農地ゾーン	福祉施設
	新規公園
	その他公共施設